



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月15日

上場会社名 株式会社一六堂 上場取引所 東
 コード番号 3366 URL http://www.ichirokudo.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柚原 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 大木 貞宏 TEL 03-3510-6116
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 平成30年10月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	4,090	△4.4	180	△10.9	241	△4.3	143	25.5
30年2月期第2四半期	4,279	△6.1	202	18.4	252	14.3	114	25.6

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 143百万円 (25.5%) 30年2月期第2四半期 114百万円 (25.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	14.78	14.30
30年2月期第2四半期	11.92	11.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	6,554	5,627	85.1	568.35
30年2月期	6,362	5,511	85.3	561.50

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 5,574百万円 30年2月期 5,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
31年2月期	—	5.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,588	1.8	401	9.1	501	7.1	276	△10.1	28.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(注) 当社の特定子会社には該当しませんが、当社の連結子会社でありました株式会社エムアイフードシステム、株式会社デイ・マックス及び株式会社ジェイエフピーの3社は、平成30年6月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	9,822,900株	30年2月期	9,677,200株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	13,900株	30年2月期	13,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	9,698,933株	30年2月期2Q	9,580,204株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社グループは、「本物の食文化の提供」を企業理念として、客単価5,000円前後の「天地旬鮮 八吉」等の和食居酒屋業態を中心に、主として東京都内のビジネス街に店舗展開を行っております。当第2四半期連結累計期間は、当社グループの出店候補とする地区において、局地的な賃料高騰後の高止まりが続いているため新規出店は行わず、収益の基盤である既存店の収益力強化に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,090,759千円(前年同四半期比4.4%減)、営業利益は180,357千円(同10.9%減)、経常利益は241,542千円(同4.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は143,318千円(同25.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

飲食事業につきましては、優良立地にある当社の既存店の収益力強化に注力してまいりました。業態ごとに毎週行われる調理部会等を通じて、より最良な調理方法や食材の保管を徹底し、お料理やドリンクのさらなる品質の向上を図り、付加価値の向上に努めてまいりました。新規出店はなく、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は66店舗となり、売上高は3,679,131千円(前年同四半期比6.0%減)、経常利益は544,801千円(同2.9%減)となりました。

② 商品卸売事業

商品卸売事業につきましては、売買参加権で仕入れた青果物等をメインに、都内の飲食店や大手企業の社員食堂等の顧客を増やし、売上高は463,759千円(前年同四半期比4.1%増)、経常利益は38,139千円(同0.1%増)となりました。

③ その他

その他につきましては、ライセンス販売の新規受注はなく、本社ビルの賃貸収入により、売上高は22,467千円(前年同四半期比2.1%減)、経常利益は13,049千円(同9.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

I. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は6,554,503千円、負債の部は927,336千円、純資産の部は5,627,167千円となりました。この結果、自己資本比率は85.1%となっております。

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,755,883千円となり、前連結会計年度末と比較して527,116千円増加しております。主な要因は、現金及び預金が485,021千円、売掛金が17,924千円、商品が28,512千円増加したことによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末の流動資産÷流動負債で表わされる流動比率は、前連結会計年度末と比較して12.6ポイント改善し551.4%となりました。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は2,798,619千円となり、前連結会計年度末と比較して334,919千円減少しております。主な要因は、有形固定資産が355,149千円、無形固定資産が571千円減少し、投資その他の資産が20,801千円増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は681,153千円となり、前連結会計年度末と比較して81,873千円増加しております。主な要因は、買掛金が13,152千円、未払法人税等が29,132千円、その他が32,479千円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は246,183千円となり、前連結会計年度末と比較して5,684千円減少しております。これは、資産除去債務が5,684千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は5,627,167千円となり、前連結会計年度末と比較して116,008千円増加しております。主な要因は、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益143,318千円の計上による増加、新株予約権(ストック・オプション)の行使等による資本金27,044千円、資本剰余金27,044千円の増加及び新株予約権33,081千円の減少、剰余金の配当による48,316千円の減少によるものであります。

II. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが301,212千円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが226,454千円の資金増、財務活動によるキャッシュ・フローが48,170千円の資金減となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末と比較して483,215千円増加し2,860,402千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は301,212千円(前年同四半期比2.8%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益212,890千円、減価償却費83,519千円、減損損失59,776千円、固定資産売却益43,346千円、その他の流動負債の増加額41,389千円に対して、法人税等の支払額67,463千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果得られた資金は226,454千円(前年同四半期比2,321.3%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出31,472千円に対して、有形固定資産の売却による収入291,221千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は48,170千円(前年同四半期比1.3%増)となりました。これは主に、配当金の支払額48,316千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月13日の「平成30年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,449,146	2,934,167
売掛金	275,159	293,083
商品	285,890	314,402
その他	223,788	221,379
貸倒引当金	△5,216	△7,149
流動資産合計	3,228,767	3,755,883
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	790,129	607,940
土地	741,130	577,891
その他(純額)	82,377	72,657
有形固定資産合計	1,613,637	1,258,488
無形固定資産		
その他	7,677	7,105
無形固定資産合計	7,677	7,105
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,420,318	1,432,783
その他	106,958	115,295
貸倒引当金	△15,054	△15,054
投資その他の資産合計	1,512,223	1,533,025
固定資産合計	3,133,538	2,798,619
資産合計	6,362,306	6,554,503
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,624	159,777
未払法人税等	80,685	109,817
資産除去債務	—	7,108
その他	371,970	404,449
流動負債合計	599,280	681,153
固定負債		
資産除去債務	238,128	232,443
その他	13,739	13,739
固定負債合計	251,868	246,183
負債合計	851,148	927,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,180	1,216,224
資本剰余金	1,244,170	1,271,214
利益剰余金	2,997,681	3,092,683
自己株式	△5,129	△5,129
株主資本合計	5,425,902	5,574,992
新株予約権	85,255	52,174
純資産合計	5,511,158	5,627,167
負債純資産合計	6,362,306	6,554,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	4,279,068	4,090,759
売上原価	1,279,299	1,209,623
売上総利益	2,999,769	2,881,135
販売費及び一般管理費	2,797,278	2,700,778
営業利益	202,491	180,357
営業外収益		
受取利息	212	190
受取配当金	47	47
為替差益	—	3,719
協賛金収入	45,057	44,753
その他	7,965	12,683
営業外収益合計	53,282	61,393
営業外費用		
為替差損	2,376	—
その他	1,053	208
営業外費用合計	3,429	208
経常利益	252,344	241,542
特別利益		
固定資産売却益	—	43,346
特別利益合計	—	43,346
特別損失		
固定資産除却損	—	2,571
減損損失	31,807	59,776
店舗閉鎖損失	24,950	9,649
損害賠償金	12,386	—
特別損失合計	69,144	71,997
税金等調整前四半期純利益	183,200	212,890
法人税、住民税及び事業税	62,823	93,332
法人税等調整額	6,178	△23,759
法人税等合計	69,002	69,572
四半期純利益	114,198	143,318
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,198	143,318

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	114,198	143,318
四半期包括利益	114,198	143,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,198	143,318
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	183,200	212,890
減価償却費	98,702	83,519
減損損失	31,807	59,776
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	1,932
受取利息及び受取配当金	△259	△237
為替差損益(△は益)	2,376	△3,719
固定資産売却損益(△は益)	—	△43,346
固定資産除却損	—	2,571
損害賠償金	12,386	—
売上債権の増減額(△は増加)	△11,546	△17,924
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,148	△28,459
仕入債務の増減額(△は減少)	51,877	13,152
未払金の増減額(△は減少)	6,150	6,998
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,232	20,100
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△815	△6,573
その他の流動負債の増減額(△は減少)	40,070	41,389
その他	21,072	26,093
小計	391,639	368,165
利息及び配当金の受取額	287	243
補償金の受取額	—	251
損害賠償金の支払額	△2,386	—
法人税等の還付額	8,384	15
法人税等の支払額	△87,953	△67,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	309,969	301,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,000	△4,200
定期預金の払戻による収入	12,000	2,400
有形固定資産の取得による支出	△21,632	△31,472
有形固定資産の売却による収入	—	291,221
無形固定資産の取得による支出	△84	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,141	△16,381
敷金及び保証金の回収による収入	36,576	22,959
その他	△7,366	△38,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,352	226,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	127	145
配当金の支払額	△47,680	△48,316
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,553	△48,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,376	3,719
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	269,392	483,215
現金及び現金同等物の期首残高	1,988,376	2,377,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,257,769	2,860,402

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、当社の特定子会社には該当しませんが、当社の連結子会社でありました株式会社エムアイフードシステム、株式会社デイ・マックス及び株式会社ジェイエフピーの3社は、平成30年6月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食事業	商品卸売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,914,545	341,564	4,256,110	22,958	4,279,068	—	4,279,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	104,025	104,025	—	104,025	△104,025	—
計	3,914,545	445,589	4,360,135	22,958	4,383,093	△104,025	4,279,068
セグメント利益	560,897	38,094	598,992	14,437	613,429	△361,084	252,344

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸料収入等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△361,084千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、2店舗に係る店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、31,807千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食事業	商品卸売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,679,131	389,160	4,068,292	22,467	4,090,759	—	4,090,759
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	74,598	74,598	—	74,598	△74,598	—
計	3,679,131	463,759	4,142,890	22,467	4,165,358	△74,598	4,090,759
セグメント利益	544,801	38,139	582,940	13,049	595,989	△354,447	241,542

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸料収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△354,447千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、5店舗に係る店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、59,776千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。